

温州ミカンの施設栽培における着色促進に効果的なフィルムマルチ時期						
<p>[要約] 温州ミカンの施設栽培で樹冠下を白色の透湿性フィルムで被覆すると着色が向上する。着色前の被覆が着色促進効果は高いが、着色初期（蛍尻期）の被覆でも着色は促進される。</p>						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	普及
平成8年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

温州ミカンの施設栽培で、着色前の5月28日と着色初期（蛍尻期）の6月28日に、白色の透湿性フィルムを樹冠下に被覆し、果皮の着色に及ぼす影響を検討した。

[成果の内容・特徴]

- ①果皮のa値はマルチ区が高く、特に、樹冠下部の果実で、マルチ区が対照区よりa値が高い。果皮のa/b値はマルチ区が高い（表1、2）。
- ②着色前マルチ区と着色初期マルチ区でa値の平均値にほとんど違いはみられないが、標準偏差は着色前マルチ区がやや小さい（表1）。
- ③マルチ区で糖度、酸含量がやや高くなる傾向がみられる（表2）。

[成果の活用面・留意点]

適正な温度管理、土壌水分管理と併せたフィルムマルチの有効利用によって品質向上を図る。

[具体的データ]

表1 フィルムマルチと果皮色（a値）の推移

果実測定位置	マルチ部位	時期	調査時期					標準 ² a値の ³	
			5.28	6.20	7.10	8.2	8.23	偏差	増加量
樹冠中部	赤道部	着色前	-16.8	-20.5	-18.5	-9.5	-1.0	4.39	15.9
		着色初期	-16.7	-19.9	-16.4	-2.6	3.4	9.79	20.1
		対照	-13.9	-17.8	-16.1	-5.4	-1.9	8.52	12.1
	果頂部	着色前	-19.4	-19.0	-5.7	8.3	12.7	5.35	32.2
		着色初期	-16.7	-16.4	-0.4	11.1	16.3	9.14	33.1
		対照	-20.2	-17.2	-1.8	7.9	11.0	4.98	31.2
樹冠下部	赤道部	着色前	-16.7	-21.2	-17.3	-2.0	5.0	6.94	21.7
		着色初期	-18.6	-20.9	-20.7	-14.2	-3.9	8.36	14.7
		対照	-17.5	-20.6	-20.4	-9.5	-5.5	6.27	12.0
	果頂部	着色前	-16.6	-16.3	1.6	12.9	15.9	2.69	32.5
		着色初期	-16.6	-16.4	-6.6	11.5	15.9	5.28	32.5
		対照	-18.4	-17.0	-3.5	6.3	11.1	5.53	29.5

² 8月23日調査果実の標準偏差

³ 8月23日測定値 - 5月28日測定値

表2 フィルムマルチ時期と果実品質

果実位置	マルチ時期	果皮色（a値）			果肉歩合（%）	果肉 ² 糖度（g/100ml）	酸含量	
		果頂部	果梗部	赤道部				
樹冠中部	着色前	12.7	-3.6	-1.0	77.2	8.4	11.9	1.03
	着色初期	16.3	-5.4	3.4	77.1	8.6	12.5	0.82
	対照	11.0	-3.7	-1.9	76.6	8.5	11.3	0.73
樹冠下部	着色前	15.9	-4.2	5.0	79.2	8.7	12.3	0.91
	着色初期	15.9	-9.7	-3.9	81.2	8.7	12.7	0.97
	対照	11.1	-10.8	-5.5	-	8.6	11.6	0.90

² カラーチャート値

[その他]

研究課題名：ハウスミカンの樹勢強化と休眠機構の解明

予算区分：県単

研究期間：平成8年度（平成6年～9年）

研究担当者：濱口壽幸，中里一郎

発表論文等：平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告。